

令和7年7月4日  
(2025年)

佐井寺西土地区画整理事業に係る環境影響評価  
事後調査報告書(令和6年度版)の概要

環境部環境政策室

1 内容

令和6年度(2024年度)に行われた佐井寺西土地区画整理事業に係る工事について、事後調査計画書(令和3年(2021年)10月)に基づいて事業者が実施した事後調査の結果及び環境保全措置の実施状況をとりとまとめている。

工事中の事後調査報告書は、通常工事終了後に提出するが、本事業は工事期間が数年にわたるため、年次状況報告書を毎年度本市へ提出することになっている。

2 受理日

令和7年(2025年)6月30日(月)

3 事業者

吹田市

4 報告の概要と所見

(1) 大気汚染

建設機械の稼働及び工事関連車両の走行による大気汚染の推計結果は、環境基準及び吹田市の目標値から設定した評価の基準値をそれぞれ下回っている。以上のことから、環境影響評価書における予想の範囲内になっており、特に問題ないと考えられる。

(2) 騒音・振動

建設機械の稼働及び工事関連車両の走行による騒音・振動の調査結果は、環境基準及び吹田市の目標値から設定した評価の基準値をそれぞれ下回っている。以上のことから、環境影響評価書における予想の範囲内になっており、特に問題ないと考えられる。

(3) 交通混雑・交通安全

本事業の供用による交通への影響を確認するため、工事関係車両の走行ルート沿道において自動車交通量調査を実施した。調査の結果、工事関係車両の走行による交通量の増加率はb-3地点では2.7%と低かったが、b-7地点(豊中岸部線)では15%と予測結果を上回った。理由については、交通安全に関する地元住民の要望等により、当初想定したスケジュールや工事車両ルートの変更があったことが考えられる。

なおそれでも、この時の時間帯別交通量が豊中岸部線の計画交通量を十分下回っていることから、周辺地域の交通の状況に著しい影響は及ぼさないものと考えられる。

(4) 動植物・生態系

動物について、一部の種では移動先で繁殖が確認されており、生息が確認された種数、個体数ともにおおむね増加していることから一定の成果は得られているものと考えられる。

植物については、令和3～4年度に移植及び播種を行ったギンラン及びタシロランの生育状況のモニタリングを行った。タシロランについては一部生育が確認されるなど、一定の成果を得られたものと考えられる。

以上のことから、本事業による影響は環境影響評価書における評価目標を満足するものと評価され、特に問題はないと考えられる。

(5) 環境取組内容の実施状況

工事の実施にあたっての環境保全措置について、令和7年3月末時点の実施状況を示している。

本市は、環境保全措置の実施内容について、調査結果をもとに検証し、その履行状況を確認している。

5 今後の対応

本市は、事業者に対して、環境保全目標の達成や基準値の厳守はもとより、さらなる環境対策を求めることで、市民にとって良好な環境が保全されるよう指導していく。